

# つ・な・ぐ

<No.4>

平成23年7月26日

\*校訓；「本気」 \*学校教育目標；「心の豊かな子」・「生き生きと学ぶ子」・「はつらつと健康な子」

三島市立東小学校長 渡辺 輝彦

## 心をつなぐ“言葉”、心を傷つける“言葉”……

\*友達に言われると、うれくなる「言葉」

だれだって、自分の存在価値を人に認められたいものですよね。

1位	2位	3位	4位	5位
ありがとう サンキュー(237人)	すごいね ナイス よくできたね さすが(124人)	いっしょに遊ぼう いっしょにやろう いっしょに行こう (72人)	じょうずだね うまいね(71人)	がんばって がんばれ がんばろう ファイト(61人)
6位	7位	8位	9位	10位
だいじょうぶ？ (26人)	やさしいね(24人)	よかったね(22人)	おめでとう(21人)	がんばったね(20人)

\*友達に言われると、嫌な気持ちになる「言葉」

人の存在価値を否定する言葉……冷たく悲しく響きます。

1位	2位	3位	4位	5位
ばか ばかやろう あほ まぬけ (209人)	死ね(69人)	きもい 気持ち悪い(58人)	あっち行け 来るな 入るな めけろ 消えろ 消えうせろ 仲間じゃない じゃま(50人)	きらい 大きらい (33人)
6位	7位	8位	9位	10位
うざい(31人)	今日は遊ばない もう遊ばない(18人)	へたくそ(15人)	いやな「あだ名」 (14人)	かす くず ざこ (13人)

<友達に言われると、うれくなる「言葉」><友達に言われると、嫌な気持ちになる「言葉」>……子どもたちに、そんなアンケートをとってみました。(※ 323人の児童から回答がありました。)

——というも、本校では、昨年度に引き続き今年度も、

**進んでかかわり互いに高め合う子の育成 ～伝え合う力を高める授業づくり～**

をテーマに掲げ、校内研修を進め

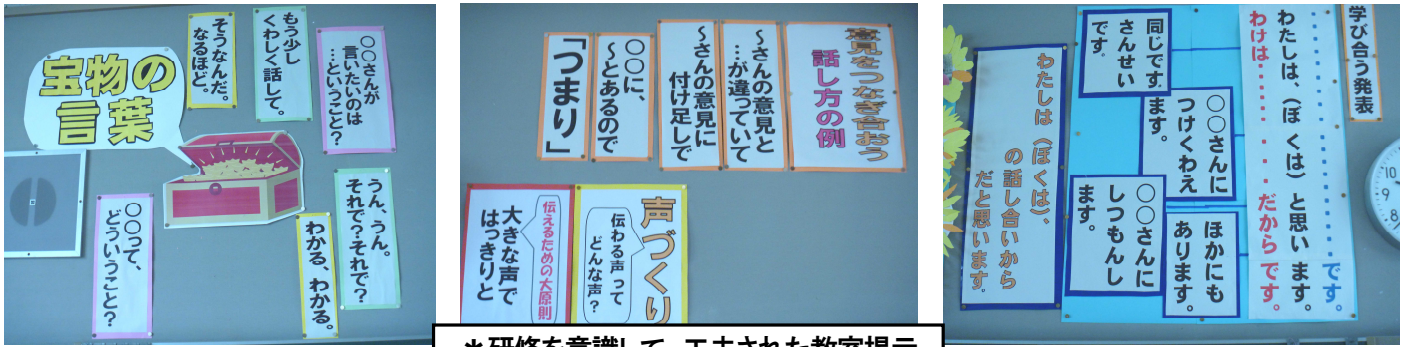
ているからです。授業では、

- ・「子どもたちが伝え合いたくなるような問題の提示」
- ・「少人数のグループでの話し合いの場の設定」
- ・「伝え合い・かかわり合いを大切にする雰囲気づくり」
- ・「伝え合いを支える話型・ハンドサイン・場に応じた声の大きさの指導」

……等、教員が相互に効果が見られた実践を披露し合ってきました。

また、授業ばかりでなく、学校生活の様々な場面でも、「言葉」を大切にしながら、子どもたちが“伝え合う”力を高めるための実践を続けてきました。





\* 研修を意識して、工夫された教室掲示

「朝の会」では順番に「スピーチ」を行い、それを聞いていた子どもたちがそれに対して、質問したり、感想を述べたり、評価したりするような工夫がなされ、また、毎週水曜日の朝には、＜スキルタイム＞という時間を設け、「かかわり合いや伝え合いを楽しむスキル」を積み重ねています。

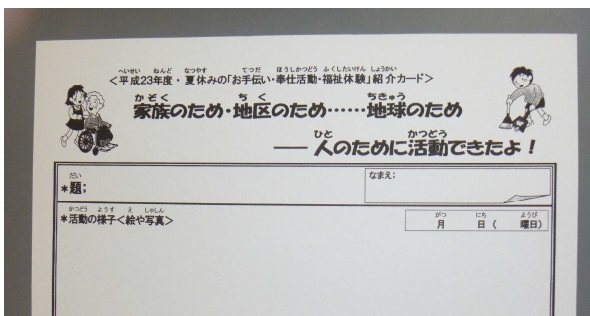
このような実践や指導は、授業の中で子どもたちの活動ぶりを見る限りでは、かなりの成果を上げていると思います。多くの子どもたちが、授業の中で自分の思いや考えを友達に伝えられるようになり、友達の意見につなげた発言ができる子も多くなってきました。

しかし、裏面の表で見られるように、子どもたちの日常生活でのかかわりの中で発せられる「言葉」には、気になる面が多々あります。——これは、「言葉」は心を表すもの・心をつなぐもの」という意識が、まだ育っていないからなのでしょう。今後、「研修」での実践を、＜いじめの撲滅＞にまでつなげていきたいと考えます。さて、文部科学省からは、次のような「いじめの定義」が提示されています。

\*「いじめの定義」は、当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているものとする。（※なお、起こった場所は、学校の内外を問わない。）

——本校でも、学級や学年（他学年の子の場合もあるかもしれません）の子から、＜友達に言われると、嫌な気持ちになる「言葉」＞による心的な攻撃を受け、精神的な苦痛を感じている子がかなりいることが分かります。この事実を丁寧に検討し、この夏季休業中に、私たちは具体的な対応策を練っていくつもりです。

なお、私たち教員も、冷静に自分を振り返ると、「言葉」によって子どもたちに心理的・物理的な攻撃を行い、精神的な苦痛を与えていることが多々あるということに気づきます。「指導に熱くなり過ぎるため」というのも単なる言い訳に過ぎません。その点もしっかり反省し、変革していかなければならないと考えています。



間もなく、子どもたちが待ちに待った「夏休み」が始まります。——今年度も、1年生から6年生までの全校児童に、夏休みの『お手伝い・奉仕活動・福祉体験』紹介カードを“自由課題”として提示しました。

保護者や地域の皆様には、子どもたちががんばっている姿を見かけられましたら、裏面の表の＜友達に言われると、うれしくなる「言葉」＞を参考に、思いっきりほめていただくことをお願いいたします。

この「連携だより『つ・な・ぐ』」は、「学校だより『本気』」の紙面でお伝えしきれない部分を補うために発行していきます。主に、学校の教育活動にかかわる“保護者の皆様・地域の方々の活動”をご紹介します。家庭・地域と学校との架け橋にしていきたいと考えています。御意見・御要望等がありましたら、遠慮なくお寄せください。

なお、皆様は、「東小学校のブログ(ホームページ)」を御覧になったことがありますか？今年度も、東小の教育活動をできるだけタイムリーに発信しようと、こまめに更新するよう努めていきます。インターネットで、「三島市立東小 ブログ」と検索するだけで見られます。関心のある方はのぞいてみてください。

